

動物資源部門セミナー

# 今すぐできるゲノム編集

2019年

5月21日 火 14:00-17:00

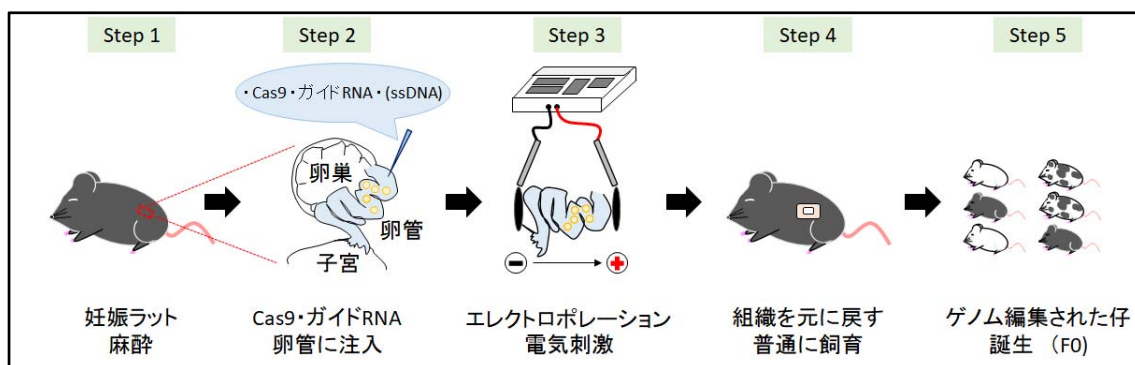
会場：自然生命科学研究支援センター 動物資源部門鹿田施設 1階セミナー室

## 「GONAD法を用いた簡便ゲノム編集マウス・ラット作成法」

CRISPR/Cas9に代表されるゲノム編集技術の発展は、遺伝子改変を一気に身近なものにしました。しかしながら、疾患モデル動物として多用されるマウス・ラットの遺伝子改変では実際の作成過程においては、使用動物の前処置、受精卵の取り扱いや移植、マイクロマニピュレーター操作といった多くの労力や非常に専門的な技術や高価な機器が求められることがひとつのハードルとなっていました。本セミナーでは従来法による受精卵操作、マイクロインジェクションなどを伴わず、より簡便にゲノム編集が可能な「GONAD (Genome editing via Oviductal Nucleic Acids Delivery) 法」について重井医学研究所分子遺伝部門の松山誠先生にご解説、実技指導いただきます。

遺伝子改変動物の作成を検討されている方、興味のある方は是非ご参加ください。

また、エレクトロポレーター、電極などの必要機器は動物資源部門鹿田施設にて貸出可能ですので、ぜひご活用ください。



GONAD法の概略

講師：松山 誠 先生（重井医学研究所 分子遺伝部門）

講義：定員40名  
実習：定員6名

参加をご希望の方は5/10（金）までに氏名・教室名・職名・メールアドレスをご記入頂き、①講義のみ、②講義および実習、のいずれかの参加希望を明記の上、下記までお申し込みください。実習につきましては先着順とさせていただきます。希望者多数の場合、各教室1名ずつ6名に調整させていただきます。ご希望に添えない場合もありますので何卒ご了承頂きますようお願い申し上げます。選にもれた場合も実習見学のご参加は可能です。

参加申込

E-mail：mfujii@md.okayama-u.ac.jp  
動物資源部門鹿田施設 担当：藤井 匡寛

共催：岡山実験動物研究会 協力：ネッパジーン株式会社